

集中治療部

1-1 構成員

平成29年3月31日現在

教授	0人
病院教授	0人
准教授	0人
病院准教授	0人
講師(うち病院籍)	0人 (0人)
病院講師	0人
助教(うち病院籍)	2人 (2人)
診療助教	4人
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	1人
医員	0人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	0人
その他(技術補佐員等)	0人
合 計	7人

1-2 教員の異動状況

土井 松幸(特任准教授)(H24. 2. 1～現職)
小幡由佳子(助教)(H23. 4. 1～現職)
加藤 弘美(助教)(H27. 7. 1～H29.3.31)
大橋 雅彦(診療助教)(H27. 8. 1～現職)
鈴木 祐二(診療助教)(H27. 7. 1～現職)
西本 久子(診療助教)(H28. 3. 1～現職)
佐藤 太一(診療助教)(H28. 4. 1～H29.3.31)

2 講座等が行っている研究・開発等

1	(1)研究・開発等のテーマ名 デクスメトミジンを用いた非挿管患者の鎮静の質の評価
	(2)研究・開発等の背景、目的、内容の概略 本研究は、ICUにおける非挿管患者の鎮静の質関し、従来より課題となっていた鎮静薬による鎮静の質について、RCSQという睡眠の質を評価する手法を用いて、分析・解明したものである。 この手法は、主観的指標かつ非侵襲的という点で画期的であり、これにより患者本人による評価で鎮静の質を評価することが可能となる。

3 論文, 症例報告, 著書等

	平成28年度
(1)原著論文数(うち和文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.000
(2)論文形式のプロシーディングズ及びレター	0編
そのインパクトファクターの合計	0.000
(3)総説数(うち和文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.000
(4)著書数(うち和文のもの)	6編 (6編)
(5)症例報告数(うち和文のもの)	3編 (3編)
そのインパクトファクターの合計	0.000

(4)著書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

	著者: タイトル, 出版社名, 巻, 初頁-終頁(頁数), 発行年.	IF
1.	土井松幸: 鎮静, 鎮痛. 急性呼吸不全 197-206, 中山書店 2016	
2.	土井松幸: 聴性誘発電位モニター. 脳波解析と電気生理学的モニタリング 116-132, 克誠堂 2016	
3.	鈴木祐二, 土井松幸: 術中記憶. 麻酔科医のための困ったときの3分コンサルト 344-347, 克誠堂 2016	

著書数(A)小計 3 うち和文 3

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

	著者: タイトル, 出版社名, 巻, 初頁-終頁(頁数), 発行年.	IF
1.	御室総一郎, 土井松幸: 内分泌外科手術. 麻酔・手術後の患者管理 260-263, 克誠堂 2016	
2.	小林賢輔, 土井松幸: 脳神経外科手術. 麻酔・手術後の患者管理 264-268, 克誠堂 2016	
3.	小林賢輔, 土井松幸: 術中覚醒の予防法にはどのようなものがあるか?. 麻酔科クリニカルクエスチョン101. 110-111, 診断と治療社 2016	

著書数(B)小計 3 うち和文 3

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

著書数(C)小計 0 うち和文 0

(5)症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

症例報告数(A)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

	筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.	IF
1.	佐藤徳子, 秋永智永子, 菊池 卓, 伊東宏晃, 土井松幸, 金山尚裕, 佐藤重仁: 産後大量出血に対する子宮圧迫縫合法(B-Lynch法)の周術期管理: DIC発症と関連. 麻酔 65: 62-66. 2016	0.000
2.	小林賢輔, 御室総一郎, 木村哲朗, 土井松幸, 中島芳樹: 中心静脈カテーテルが左上肋間静脈に迷入し左胸腔に穿孔した1例. 日本集中治療医学会誌 24: 141-2, 2017	0.000

症例報告数(B)小計 2 うち和文 2 IF小計 0.000

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

	筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.	IF
1.	小幡 良次, 小幡 由佳子, 白石 義人, 硬膜下血腫を合併した特発性脳脊髄液減少症に対して穿頭血腫ドレナージ先行の硬膜外自家血パッチの同時手術を行った1例. 日本ペインクリニック学会誌23巻2号 97-101, 2016年	0.000

症例報告数(C)小計 1 うち和文 1 IF小計 0.000

4-1 特許等の知的財産権の取得状況

	平成28年度
特許等取得数(出願中含む)	0 件

4-2 薬剤、医療機器等の実用化、認証、承認、製品化、販売等の状況

	平成28年度
実用化、認証、承認、製品化、販売数	0 件

5 医学研究費取得状況

	平成28年度	
	件数	金額 (万円未満四捨五入)
(1)科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)	1 件	90 万円
(2)厚生労働科学研究費	0 件	0 万円
(3)日本医療研究開発機構(AMED)による研究助成	0 件	0 万円
(4)科学技術振興機構(JST)による研究助成	0 件	0 万円
(5)他政府機関による研究助成	0 件	0 万円
(6)財団助成金	0 件	0 万円
(7)受託研究または共同研究	0 件	0 万円
(8)奨学寄附金	1 件	90 万円

(1)科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)

1. 土井松幸(代表), 基盤研究(C), 光テクノロジーを利用した血液ブドウ糖濃度の連続測定法の開発, 平成28年度~平成32年度	90万円
--	------

6 大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	(1)国際学会	(2)国内学会
1)基調講演・招待講演回数	0 件	0 件
2)シンポジウム発表数	0 件	0 件
3)学会座長回数	0 件	0 件
4)学会開催回数	0 件	0 件
5)学会役員等回数	0 件	1 件
6)一般演題発表数	1 件	

(1)国際学会等開催・参加

6)一般発表

6-2)ポスター発表

1. 加藤弘美, Evaluation of deep-forehead temperature (SpotOn®) during therapeutic mild hypothermia and rewarming, Euroanaesthesia, 2016年5月、ロンドン(イギリス)

(2)国内学会の開催・参加

5)役職についている国内学会名とその役割

1. 土井松幸 日本集中治療医学会 評議員, 社会保険対策委員会委員長
--

8 学術雑誌の編集への貢献

	(1)外国	(2)国内
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成28年度
(1)国際共同研究	0 件
(2)国内共同研究	0 件
(3)学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成28年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

12 新聞, 雑誌, インターネット等による報道

13 その他の業績